

## ドイツにおける予防的医療について — ドイツXVII

加久間 景子\*

### 1. ドイツにおける予防的医療及び対策

イギリスの予防的医療はリンクワーカーとしてNHS(国立病院)に所属して活動しているが、ドイツでは病院での動きではなく、あくまで国からの決定つまり健康省、保健大臣の管轄となる。

まず大きく分けてドイツは公の健康保険と個人(プライベート)保険がある。公の保険では掛け金が収入との比例で請求され高くなるために、ある程度以上の収入があると個人保険に移行することが多く行われる。

公の保険では掛け金の半分は国が負担することとなっている。この援助は個人保険に移行しても公で負担される額までは受け取ることができる。

個人保険は自由に保険の内容が選べる利点があり、掛け金は個人個人で様々である。最高の医療を希望する場合には掛け金さえ出せば全て受けられる。ただし、現在、これにより健康保険が2階級に分かれていると批判されはじめ一つにまとめる動きもある。

しかしこれは新たな問題が起きる可能性がある。プライベート健康保険は民間の保険会社のもとに成り立っている。当然、将来性、即ち、最新医学の研究ということをも重視し、投資あるいは援助する働きがある。これが一国の保険になってしまうと、国からの援助が存在しても自由な判断、決断がしにくくなり国が主導する研究が遅れてしまうことが懸念される。

一つの例として、コロナのワクチンを発見したBioNTechはトルコ系ドイツ人の民間の研究所であった。元来、癌治療を専門としていたが、これらを全て休止してコロナワクチンの研究に切り替えた結果としてコロナワクチンの製造に漕ぎつけた。そして製造販売はアメリカPfizer社から行われた。

### 2. 予防的医療に関して

#### (1) 個人保険の例

個人保険は保険会社によって保険の内容も異なる。希望さえすれば、掛け金選択の仕方により全ての予防的医療が可能であるとも言える。無論、個人の金銭的負担との関係が出てくることになる。

しかし、基本的には、発病した際に必要となる費用より予防的医療の方が効果的であるとされ、筆者の経験からみても、一般に必要なとされる費用は全て保険金で支払われている。

#### (2) 公の健康保険の例

予防的医療はかなり細かい決まりがある。これには自己負担はない。

#### ①癌検診

##### (i) 女性の場合

- ・11歳から子宮頸部の検査が行われる。ワクチン接種が含まれるケースもある。
- ・30歳から年に一回胸部の外見検査。
- ・50歳から70歳迄、2年に一回、胸部マモグラフィ検査がある(これは公の保険と個人保険との差はなく、2年に一度、日程、場所等が指定された招待状が届く。
- ・これは、個人の希望で変更も可能である。
- ・20歳から35歳、年に一回子宮の検査(その後も年に一回の検査が推薦されている)。

##### (ii) 男性

- ・45歳から年に一回、生殖器の検査

##### (iii) 共通

- ・皮膚の検査：35歳から2年に一回
- ・大腸：便の検査が2年に一回行われる(年齢に関係ない)
- ・結腸内視鏡検査：男性50歳。女性55歳から。10年に一回実施。
- ・70歳以上は、加齢により検査の際に負傷する可能性があるとして特例の扱いとなる。

\* 在ドイツ音楽家。なお、本稿は、加久間景子氏からの情報提供を、本財団理事長光多長温がまとめたものである。

- ②血圧・血液検査、及び肥満の検査
  - ・35歳から3年に一回(糖尿病検査も含まれる)。
- ③歯
  - ・18歳から年に一回検査及び歯石処置(医学的な歯の清掃は含まれない)
  - ・6歳児からの定期検査
- ④予防注射
- ⑤2021年10月から、35歳からB型C型肝炎の検査及びワクチン接種
- ⑥肥満予防
  - ・栄養学、ストレスなど精神的な病状に対する援助(内容あるいは種類には個人差が大きい)。
- ⑦その他
  - ・新しく発見され認められた病気・病例に対する保険もあるが、専門的すぎるので触れないこととする。

が以前より法律で狭くなっているとはいえ、公及び個人保険とは関わりなく予防も含め先ず信頼でき相談できるのは家庭医であると思われる。但し、全ての人が満足できる家庭医を持っているかは依然として問題が残るとは思われる。

以上

### 3. 制度の特徴

ドイツでは病院と住民の繋がりというより、教会を中心とした社会的つながりによるボランティア活動、地域の個人的な動きであり、国からの動きではなく地域、個人単位で健康維持に携わる知識を得る動きがある。

これら予防的医療の効果は、明確ではないが、人との繋がりを持って知識を得る働きとなり、特に高齢者への援助にも繋がっている。

又、アメリカのコミュニティカレッジ程の規模ではないが、各州の援助で国民が安い授業料で参加できる Volkshochschule (国民の学校と訳せるが)があり、語学講座から文化的な講座、栄養学、健康に関するヨガ、スポーツなど様々な分野の授業が受けられる。

同時にアメリカのバイデン大統領がキエフを訪問し、続けて NATO との連携を示すがごとくポーランドのワルシャワを訪れて演説し、世界情勢の断裂があらさまに示された。

### 4. まとめ

ドイツでは家庭医の存在が重要視され、先ず全体的な健康状態を判断するために長年の経過を理解しての見解を基本にしている。家庭医が検査する範囲